

令和5年度 学校経営の方針

北海道中札内高等養護学校

- 生徒の実態
- 保護者の願い
- 学校の願い
- 地域社会の期待
- 社会・経済情勢

学校教育目標	
心豊かに 生きる力を育てる	
具体目標	
1	心身の健康を維持・増進する力
2	人と関わる力
3	自分を整える力
4	主体的に生活する力
5	意欲的に働く力

- 憲法、教育基本法、諸法令
- 学習指導要領
- 北海道教育のめざす姿
- 十勝管内教育推進の重点
- 特別支援教育の動向
- 心の大地なかつない教育宣言

校訓「仲良く 明るく たくましく」

学校経営の基本方針	
1	生徒が生き生きと学習し、生きる力を育む学校
2	保護者に信頼され、生徒の自立を託される学校
3	教職員の専門性を高め、やりがいのもてる学校
4	地域社会に開かれ、必要とされる学校
5	協働体制による組織力を強化し、全職員が人材育成の意識を高め、学校運営へ参画する学校

中期目標（令和5年～7年度）	
1	一人一人の生徒の的確な実態把握に基づき、全ての学習場面において障がいの特性に応じた能力を最大限伸ばさせる指導の充実を図る。
2	ICTを活用した指導の充実、学習間の連携並びにセンター的機能の充実を図る。
3	教科別の指導及び各教科等を合わせた指導での学びを活用・発揮できるようP-D-C-Aサイクルでの評価・改善を行い、教育課程の充実を図る。
4	コミュニティスクールを中心に地域との連携の在り方を明確にし、就労支援の充実を図る。

本年度の重点	
1	一人一人の生徒の的確な実態把握を行い、個別的教育支援計画及び個別の指導計画の目標設定及び指導内容の設定につなげる。
2	ICTを活用した学習活動の充実を図る。
3	コミュニティスクールを中心に中札内村との連携を充実させ、地域の学習を進めるとともに、卒業生の中札内村定住推進を図る。
4	生徒の人権を尊重し、障がい特性に応じた個々の指導を充実させる。

各学年、分掌等の重点目標				
学年	1 2 3 学年	重点目標		
		研究	情報教育	
学科	1 2 3 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修や校外研修などを通して、教職員個々の専門性を高め、指導力の向上を図る。 ・研究成果や教育、福祉に関する最新動向の周知、報告に努め、情報発信の機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティの向上を重視し、情報機器の保守、点検及び整備の充実に努める。 ・ICT教育の充実に関する整備と検討および研修会の企画を行う。 	
	学科間及び関係部署などと連携し、地域貢献の計画・運営・共有に努める。	保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導、体育的活動、食育を通じて生涯にわたって生徒が主体的に健康の保持増進、体力向上を図ることができるように努める。 ・学年、寄宿舎と連携を取りながら、健康状態の把握に努める。 ・体育施設、教室環境設備の維持改善に努める。 	
寄宿舎	男子棟	自己の感情や行動の調整	学舎連携	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学校生活や寄宿舎生活、日常生活等での問題に対して、教務・舎務が連携及び協力して指導を行えるよう進める。 ・各学年・分掌・委員会と連携し、行事等の情報共有及び調整を行う。
	女子棟	自立した生活に向けて、自分に必要な力を知ることができるように支援する。	舎務	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の充実を図るための勤務割り振りに努める。 ・関係部署と連携を深め、円滑な舎務運営を行う。 ・安定して情報機器が活用されるように努める。
事務	事務	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習環境の充実に努める。 ・ICT教育の充実に向けて、関係部署と連携して進める。 ・地域に開かれ、必要とされる学校を実現するために、事務側から協力ができることがれば、関係部署と連携して進める。 	研修	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標を達成できるよう研究テーマを設定し、年間計画に基づいた実践研究を推進する。 ※研究テーマ～「社会生活に必要な生活力を育てるための指導法の研究」～SUPを活用した実践
	教務	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を深めた特色ある教育課程の編成を進める。 ・ICT機器の効果的な活用について検討を進める。（学習支援、校務支援システム等） 	生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の情報を学舎で共有し、共通理解のもと生活指導・支援に努める。 ・問題発生時は学舎で情報共有し、早期解決に向けた指導・支援に努める。
分掌	総務	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA事業の活性化及び充実した活動の推進を目指し、PTAによる教育活動への参画、協力の機会を設ける。 ・地域とのつながりを生かした学校教育活動の見える化及び各種事業などの発信をする。 	健康安全	<ul style="list-style-type: none"> ・舎生の心身の健康を維持・増進するための生活方法について考え、集団生活が送れるように環境整備や啓発に努める。
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自主的に意見を出し合い、自分から他者とかかわり、協働的に働きかけようとする事ができる。 ・委員会の活動内容を見直し、活動時間の充実を図る。 ・行事等の見直しを行いながら向上を図る。 ・安心安全な学校を継続するため各部署と連携し、それぞれの業務を遂行する。 	舎友会	<ul style="list-style-type: none"> ・舎生が主体的に意見を出し合い実行できるよう、適切な場面での助言に努める。 ・ブロック会議や部会を通し、問題点や課題解決に向け舎生間で話し合い解決していく力を育てる。
分掌	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習開拓及び進路開拓を計画的に進め、地域や前提となる実習先の協力を得ながら、生徒にとって充実した実習の機会となるよう調整にあたる。 ・中札内村での雇用及び生活の場の確保を推進できるよう、体験実習等で生徒の実態を受入先の事業所と共有していく。 	今年度の研究課題	<p>「障がいの特性に配慮した生徒へのかかわり方」 ～生徒に身に付けさせたい力を明確にした授業づくり～</p>
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習開拓及び進路開拓を計画的に進め、地域や前提となる実習先の協力を得ながら、生徒にとって充実した実習の機会となるよう調整にあたる。 ・中札内村での雇用及び生活の場の確保を推進できるよう、体験実習等で生徒の実態を受入先の事業所と共有していく。 	寄宿舎	<p>研究テーマ～「社会生活に必要な生活力を育てるための指導法の研究」～SUPを活用した実践</p>